

第2回中津川市図書館機能検討委員会 議事録

日時：令和元年8月27日（火）15時～

場所：中央公民館 4-2 学習室

1. あいさつ

・先日は田原市の図書館を見学した。中津川市が計画する複層階のビルと違い、ワンフロアの大変大きな図書館でしたが参考になった。

・本日はお忙しい中、アドバイザーとして、愛知工業大学の中井先生にお越しいただいている。

・本日は機能についての具体的な検討となっていますので、皆様の中からご意見をお聞きして進めたい。

・私からの資料を配布していただきました。山崎さんという方の「複合施設と図書館」の記事を載せています。今までの図書館でいうと、複合施設の中の図書館は敬遠される時代があったと言われていますが、現在はまちづくりの中で考えていくと、複合施設で作ることによって、財政負担を抑え、効率的な運営ができるということや、図書館を中心にしたにぎわいと人の流れを作り出すという意味で注目されており、全国的にもその傾向で動いているということです。その利点や若干の難点も、みなさんとお話しできればと思う。

2. 報告

資料1

高校生・大学生とのワークショップ（8月9日）開催

3. 中央図書館内視察

2グループに分かれ、15分程度の館内視察

4. 議事

(1)「新しい図書館のかたち～参考事例から～」愛知工業大学工学部 中井孝幸教授

委員：先進的な運営面とはどういうものか。

中井教授：図書館として全国的にも有名な、伊万里図書館は「図書館友の会」という民間の人たちと一緒に運営している例や田原市図書館のようにソフト面で民間のグループと協力して多様に実施している例がある。

委員：今後財政的にも厳しい面が出てきますので、財政面について他の自治体の先進的な取り組み方もいずれ教えてほしい。

中井教授：わかりました。

委員：図書館を作る前には、ターゲットを子どもや高齢者などのための図書館にしようとか、ある程度の対象を考えてからつくるものなのか。

中井教授：中央図書館は幅広い世代を対象に考える必要がある。

一宮図書館の例では、一番よく使っているのは高齢者と学生という結果があります。駅前という立地からある程度予想されていたと思いますので、やはり立地する場所とその中身はリンクして考えたほうがいい。

中津川市も考えられているのは「中央図書館」ですので、小さい子どもから高齢者までを広く対象として、その中でも特に来てほしい世代というのは+αで中身を考えたほうがいい。

沖縄の恩納村という図書館は観光案内所が併設されており、観光客がよかつたなと思う観光地をプロットする掲示板を置いて、利用者参加型で町おこし事業を行っている。

市ばかりでやるのではなく、いろいろな人で上手に活動を取り組めたら、少ない予算でもできる。

(2) 求められる図書館機能について

資料2

推進室長：(資料2説明)

委員：これから先の時代をみこして、特にまちの中を活性化していくために、真剣に考えて良い施設づくりを考えたい。

委員：本当にこういう図書館が欲しいのですが、求めるものがたくさんありすぎて、どのように予算面や色々な作り込みをしていくのか。これから大変だなあという感想です。

複合施設ができるということを市民があまり理解してないが、宣伝しても良いでしょうか。

私たちは、図書館に関する発信をしています。「こういう施設ができそうですよ。皆さん、ご意見をください。」と載せてもいいですか。

政策部長：はい。「図書館」だけでなく、市全体の情報発信の拠点としての「複合施設」というかたちでもお願いします。

広報8月号で複合施設についての記事を掲載している。

委員：せっかく作るのであれば、先まで使えるような図書館にしないと意味ないので、頑張って充実したものを作っていきたい。

皆さんの意見を聞くことも大事。

委員：お金をかければいいものができるとは思いますが、そればかりではなくユニバーサルデザインのような言語や文化の違いを持つ人や、障がいのある人たちに優しいものを選んでいきたい。

外国人さんが電車を降りて、バスでそのまま馬籠に行ってしまうっていうのを、いつももったいと感じています。そういう観光客にも面白いものがあるから行ってみようと思ってもらえるような施設にしたい。

観光案内所やイベント情報の発信、トイレが素敵だから利用してみようっていうだけでも集まると思うので、人を集める工夫やまちを活性化させるための図書館としての手段も考えるのもいい。

人が来れば、図書館も利用してもらえるとと思うので、とにかく人に来てもらうという考え方も必要。

委員：中井先生にたくさん最新的で特徴的な図書館を紹介していただいた。施設の不便さや職員が足りないことも改善して、良い図書館にしたいと改めて思う。

委員：資料2で説明の機能を進めていけば、良い図書館が出来ると思う。

委員：現図書館では本当に不便な環境の中でスタッフの皆さんが努力してみえると実感した。

蛭川とか加子母のような遠方の方たちは、利用したときに満足して、また来なくなるような図書館を作らないと、近くの方だけが利用しやすい図書館になってしまう。

駐車場など交通の便とか利用環境等も整備していただき、ぜひ来なくなるような図書館にしてほしい。

委員：説明された求められる機能で、予算のこともあるので大変とは思いますが、これが全てできれば最高の図書館になると思う。

一番心配するのは、駐車場がしっかりとれるかということと、中津川市の文化の発信地となるような図書館にしてほしいということ。

商業、経済はリニアの方に行ってしまいますので、まちなかは文化の発信の地として、中心となれるような施設にしてほしい。

委員：図書館や複合施設で人が来るのかと声が出ていますが、そういう人たちの熱を上げさせるのは、私たち商店街しかできないので、もっと私どもから上げていって、良い図書館ができるという事をみんなにわかってもらいたい。

委員：これが全部できればいいと思う。すごく嬉しいと思うし楽しいと思うので、もっとみんなでわくわくしてできるといい。

今後は市だけに関わらず、例えば市民ひとり一万円を友の会みたいに出せば、1,000人で1,000万できるわけで、そんなことも考えて、みんなで楽しくできるといいなあと思う。

本日提案のあったたくさん機能を、中井先生にアドバイザーをお願いしながら、梓の中で落とし込みをして、今後議論させていただきたい。

委員：子育ての観点から考えると、子どもの心身の発達に考慮した施設、設備が備えられるとよいと思います。

委員：求められる図書館機能の案は、基本的には提示させていただいた内容を基本に進め、次回はスペースや配置も含めて、中身について議論したい。

今日の提案のあった設備・諸室についても、ひとまず了承いただいて、次の会

議でもう少し議論をしていきたい。

私の提案ですが、次の会議の前に、各種の団体・利用団体も含めてヒアリングの場を設け、次に反映できたらと思う。

実際に図面ができてきてから、中身の議論ができたらと思います。

中井先生には、次回も来ていただいてアドバイスをいただきながら議論を進めたい。

(3) その他

今後のスケジュール

- ・第3回検討委員会 9月24日(火) 15時～ 中央公民館 2階学習室
- ・第4回検討委員会 10月下旬